

幕末の江戸風俗

塚原渋柿園 著

菊池眞一 編



つかはらじゆうしえん
塚原渋柿園(1848-1917)は、江戸から明治への転換期を生きた文学者。喪われた江戸を伝える多くの随想・講演を残した。幕末の武士・庶民の生活・習慣、明治初期の論壇・文壇などに関する、体験に基づく語りは、貴重な歴史的証言であり、何より興味つきない読み物として楽しめる。作品 18 篇を精選し、詳細な注解・索引を付した。



緑 213-1
岩波文庫

カバー図版「大横町の夜景」(山本松谷『新撰東京名所図会』、明治三十六年十月)

世界名言集

◆古典の宝庫——岩波文庫の名句 三〇〇余
岩波文庫編集部編
岩波文庫に収められた古今東西の名著群から、心ひかれる印象深い言葉を選び出した一冊。



B6判・上製函入・612頁
本体2700円
(定価は消費税が加算されます)